

自己評価結果表（児童養護施設）

共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	ホームページ、パンフレットなどに明記されている。

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	ホームページに記載 経営課題に具体的に取り組んではいるが、抹消課題は積み残しが多い。分析結果の公表に課題あり。
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b	光熱費削減の取り組みや予算の見直し。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	地域小規模化など明確に計画されているが、本体施設については役割が不明確な点がある。明確化と評価が不十分。
② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	策定はされているが、職員への周知が十分ではない。長期的なスケジュールがなされていない。
(2) 事業計画が適切に策定されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	評価が行われているが職員の認識が不十分。
② 7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	c	保護者への説明不十分。

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	組織的にOJTや研修が行われているがPDCAサイクルの活用はしていない。
② 9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	部分的に実施している。計画的な実施ができていない。

Ⅱ 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	不在時の権限委任などは課題。
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b	間接的にリーダーシップが発揮されている。
②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a	

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	c	具体的な計画がなく、場当たりのものが多い。「計画的に…」が課題。
②	15 総合的な人事管理が行われている。	b	評価は公表されていない。
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	年2回と適宜、個別の施設長ヒアリングを実施している。就業規則の整備、衛生委員会の設置などを通して働きやすい職場づくりに取り組んでいるが十分ではない。
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	施設業務マニュアルの策定 OJT研修の実施 職員育成について具体的な取組が行われているが評価が不十分。
②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	具体的に計画が進んでいる。
③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a	園外研修についても様々な研修機会が設けられているが、職員数の増加により、一人ひとり全ての職員に教育・研修などの機会が十分には確保されていない。
(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	計画的な実施がなされている。専門職の研修・育成についての体制が不十分。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
------------------------------	--	------------	----------------

①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	ホームページに記載 SNS、インターネットを活用できている
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	透明性が高いわけではないが適当である。

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	スポーツ少年団への参加 学校関係で地域からの協力を受けている。子ども会、町内会活動を通して地域との交流を広げている（地域小規模）。
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	受け入れは計画的に行われているが、マニュアルは不足している。
(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	学校、児相、医療機関他十分な連携がなされている。社会資源を明示したリストが不十分。
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b	地区の種々委員会への参加。職員個々の活動において福祉ニーズを把握することはあるが、組織として具体的な取組は行っていない。ニーズをもっと探ってもよい。
②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	みことばの集い 絵画クラブ イベントへの招待など。学習環境の整備に関して試験会場の提供など活動が行われているが不十分。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	処遇会議 ライン打ち合わせ チームミーティング。標準化について議論が始まっている。アンケートは効果的。基本姿勢が不明確。
②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	b	必要な配慮がなされているが子どもからの評価は高くない。周知することに課題。
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	b	児相と連携しながら、施設の方針や家庭支援の方法など十分な説明がなされている。
②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a	分かり易く伝えているはずだが、子どもや保護者などの理解が高くない。
③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a	措置延長 アフターフォロー 子どもや保護者への事前説明が行われているが、養育・支援の継続性に配慮した取り組みとしては不十分。
(3) 子どもの満足の向上に努めている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】

	①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	人権アンケート 苦情ボックス 四季の会。日常生活を通して子どもの移行を受けとめ取り組んでいるが十分とは言えない。
(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。			自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
	①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	苦情ボックス、苦情解決委員会。
	②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a	担当の開示。環境については組織的ではないが整備されている。
	③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	四季の会。
(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。			自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
	①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	危機管理マニュアルの策定。マニュアルの周知には課題あり。
	②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	看護師、栄養士を中心にして完成賞の予防や発生時の対応を行っている。マニュアルが整備されているが徹底されていない。
	③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	月1回の避難訓練、防災訓練。防災委員会を中心として組織的に取り組んでいる。

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。			自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
	①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	b	事業計画において、養育感、養育目標などを明確にしている。処遇会議などで養育観の共有を図っている。
	②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	確立されていない。標準が見失われつつある。
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。			自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
	①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	b	組織的に行っている十分ではない。
	②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b	半期に一度、評価・見直しを行っているが、日常業務の中に意識化されていない。
(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。			自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
	①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	育成記録 チームミーティングレポート 連絡票などが用いられている。日誌、すこやか日誌。共有化のための職員意識が不足している。部門横断での取り組みが不十分。
	②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	日誌、すこやか日誌。

内容評価基準（25項目） A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護		自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a	アンケートの実施。権利ノート、子どもの権利擁護に関するチェックリスト等活用しているが取組としてはやや不十分である。
(2) 権利について理解を促す取組		自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	b	CAPを活用している。
(3) 生い立ちを振り返る取組		自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている。	b	取組については試行錯誤がなされている段階。ライフストーリーワーク。生い立ちを振り返る取り組みを行っているが児相職員の異動もあり、十分ではない。
(4) 被措置児童等虐待の防止等		自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b	情報共有は行われているが十分ではない。
(5) 子どもの意向や主体性への配慮		自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A5 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	b	共に考えながら、良い環境を整える努力をしている。子どもへの説明は不十分。職員と子どもが共生の意識をもち、子どもの主体性を重んじている。
(6) 支援の継続性とアフターケア		自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A6 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	b	関りがあった職員が対応。新入所、措置変更などにおける子どもの不安軽減に最大限努めている。
②	A7 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	b	チャイルドラインSSTの活用、退所後の支援にも積極的に取り組んでいるが十分ではない。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A8 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	b	理解に努めている。職員は子どもの生い立ちや心理的背景を理解し、子どもの表出する感情や言動を受けとめようとしている。
②	A9 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活をいとなむことを通してなされるよう養育・支援している。	b	集団生活の中で十分な支援が行われている。職員は日常生活の営みを通して、基本的欲求が充足するよう、養育・支援しているが十分ではない。
③	A10 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	b	子供に寄り添った支援が行われている。子どもの意志を最大限尊重するよう努めてはいるが、職務上制約がかかってしまうこともある。
④	A11 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	b	一人で学習する部屋がほぼない。安全な遊び場がない。
⑤	A12 生活のいとなみを通して、基本的生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	b	グループホームでの生活を通して、基本的生活習慣を確立するよう支援するとともに地域社会とのつながりを大切にしている。（地域小規模）

(2) 食生活		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
	① A13 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	b	食事作りも増えてきているが、一人ひとりの子どもに見合ったものは難しい。ユニット調理の定期的な実施。職員は子どもたちの嗜好や希望を献立に反映させて、おいしく楽しみながら食事が出来るように調理に努めている（地域小規模）。
(3) 衣生活		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
	① A14 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	b	年齢に応じた予算を確保しているが十分ではない。やりくりできている。TPOに合っていない時がある。子どもたちが適切に自己表現できるよう、衣類を十分に確保し、衣習慣の習得に努めている（地域小規模）。
(4) 住生活		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
	① A15 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	a	共有スペースの環境。職員は環境整備に努めているが、手が行き届かないところがあった（地域小規模）。
(5) 健康と安全		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
	① A16 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a	嘱託医、看護師と連携して一人ひとりの心身の健康を管理し、適切に対応している。
(6) 性に関する教育		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
	① A17 子どもの年齢・発達状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a	年に1、2回勉強会を開いている。CAP、性教育委員会。
(7) 行動上の問題及び問題状況への対応		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
	① A18 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	b	その都度対応しているが対応については苦慮している。施設全体で立て直そうとはできていない。
	② A19 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	b	職員間で共有した情報をもとに対応している。
(8) 心理的ケア		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
	① A20 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a	プレイセラピー 心理士の会議や打ち合わせへの参加。児相心理士の活用。
(9) 学習・進学支援、進路支援等		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
	① A21 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	b	学習ボランティア 塾の利用 家庭教師。環境を整備中。
	② A22 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a	児の意思決定を尊重し、退所までの十分な支援を行っている。
	③ A23 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a	アルバイトや夢ネットの活用。
(10) 施設と家族との信頼関係づくり		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】

	① A24 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a	FSW、CWが連携しながら行っている。支援方針を家族に説明という点は議論が必要。
(11) 親子関係の再構築支援		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
	① A25 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a	組織的に取り組んでいる。施設全体で共有が不十分。